

3年連続受「ひょう」!!

と、見出しだけ考えたのは、夫です。

おとしは、5月28日。30分ほど続いた、おそろしい「ひょう」でした。収穫をまじかに控えた小麦は、ポロポロ実が落ち続けて、収量は半減しました。ナスやトマトなどの露地の夏野菜も、大きな被害を受け、ジャガイモや玉ねぎに病気が出ました。

去年は、7月8日という遅い時期に、狭い範囲で降りました。盛りの夏野菜がすべてやられて、野菜セット出荷を2週間お休みさせていただき、近所の被害を受けなかった仲間の野菜の応援を得て、再開しました。

そして、今年は、5月29日木曜日の夕方です。狭いベルト状に降った「ひょう」が、うちのメインの2つの畑に大当たりしました。2センチほどの大きさの「ひょう」がたたきつけて、ポロポロになるナス(2日前に被覆資材を外して、のびのびとさせて、仮支柱に結んでやったのに)になすすべもなく、ズッキーニを救助しようともう一つの畑に駆け付けた夫の目の前で、一瞬畑が真っ白になったそうです。(上が、ナス。左は、里芋)



おとしより、全体的に生育が遅れていたもので、被覆資材がかけられたままのものが多く、露地トマトなど夏野菜への被害は抑えられましたが、小麦はいくらか実が落とされました。今年は、うどん用の「農林61号」をやめて、パン用の、品種(ミナミノカオリ)だけにしました。「ノラのパン」の雪丸と、つれあいの葉子さんが、赤ん坊を連れて、蒔いてくれたものです。2月の大雪で何週間も雪の下にいたけど、その後は元気に育っていました。収穫まで、あと2週間ほどです。

次の日、配達先で、この連続受「ひょう」の話をしたら、隣の深谷市で育ったお客さんが、子供の頃は毎年のように「ひょう」が降っていた、湯呑み! くらいのが降って、血だらけになった人が助けを求めて家に駆け込んできたことがある、と話してくれました。「異常気象」って昔からあるんだ、みんなよく続けてきてるなあ、まだまだ奥が深いなあ、などと、真夏日に、泡のようなことを思っていました。

ということで、「ひょう」に打たれた傷がある、ズッキーニも、しばらくセットに入れさせていただきますが、どうぞご了承ください。(6月2日 泰子)

<料理メモ> ~青シソしょう油漬け

お客さんに教わって以来、毎年やります。青シソをセットに入れる前に、再度ご紹介しようと思っているのに、忘れてしまうことが多いのです...煮立たせて冷ました濃い塩水に、青シソの葉をしばらくつけて、アク抜きをします。きっちり絞ってから、ひたひたより少なめのしょう油に漬けます。冷蔵庫で1週間は大丈夫。温かいご飯の共に。

